





# クラブインタビュー

## 準硬式野球部

Q、どのような取り組みをしていますか？  
 A、準硬式野球部は、目標の全国制覇に向けて、週4〜5回の練習をおこなっています。また、野球部には、「社会に通ずる人間形成」という目的があります。つまり、ただ野球を練習するのではなく、野球を通じて社会でも通用する力をつけることが目標です。この準硬で、人間として成長し、創大生の模範となるよう日々練習しています。

Q、「人間形成」のために、練習で気を付けていることは何ですか？  
 A、挨拶や連木を大切にすることと、道具を大切にすることです。

練習は、学外の球場を借りて行っているのですが、管理人さんへの挨拶や、きれいに使ってきたり返すことを徹底しています。また、勉強や諸活動、創大祭にも全力で取り組んでいます。

Q、創立者との原点を教えてください。  
 A、創立者が、いつも準硬が練習していた外部の練習場に来て下さったことです。自分たちが練習していない時だったので、創立者がその時の写真を後日準硬に



送ってくださったのです。創立者が、私たちの練習場まで足を運んでくださったことに、感動しました。

Q、創大ならではの伝統はありますか？  
 A、「二人を徹して大切に」ということを根本にした後輩育成です。「後輩のために野球しよう」という先輩の姿をみて、僕たちも後輩がおもいっきり、楽しく野球ができるように、執行でさまざまなことを話し合っています。

悩んでいる後輩がいれば、しっかりと寄り添い、どうしたらいいかをみんなで考えます。

準硬を通して、後輩が自分以上の人材に成長してほしいと思っています。

Q、準硬の良さをアピールしてください！  
 A、創大で、成長したいと思うならば、準硬式野球部は絶対に間違いないです！  
 何事も全力です！準硬は、部員全員が「一部として良かった」といえる、最高のクラブです！  
 是非一度、練習にきて、準硬という野球部を見てほしいと思います！

## SKA

Q、どのような取り組みをしていますか？  
 A、草創期から残る建学の精神に基づくSKA理念を根本に活動しています！  
 〈SKA理念〉  
 一、豊かな人間性個性を備えた人間の形成  
 一、世界規模の諸問題に対する理解と研究  
 一、平和へと響き渡る新しき音楽の創造

この三指針を根本に世界の問題を調べ、音楽を通して世界の平和に貢献しよう、目の前の一人の幸福の為に活動しています！

そのために、スタジオ練習や個人練習だけでなく、月曜の放課後に部会を開き、部員皆で気持ちを一つにするため創立者の研鑽や気持ちの共有をしています！  
 部会では、世界の諸問題を調べ、プレゼンをしたり、平和のために音楽活動と研究活動をしつかり両立しています！

Q、部の歴史について教えてください  
 A、SMSにいた38期が東京スカパラダイスオーケストラのコンサートに行った際に、ドラムのステイックを投げたパフォーマンスのステイックをキャッチし、直感で作ろうと決意したことがきっかけです！

Q、どのような部になりますか？  
 A、人生の原点をこの部で作ってほしいです。  
 個人として負けない青春時代を築いてもらいたい。色々な人がクラブに所属しているからこぼつかりながらも立ち返る理念をもとに目の前の人を大切に音楽を大切にしたいと思っております！

Q、SKAの魅力とは？  
 A、目の前の人を笑顔にするという目的を根本に演奏活動をしている所。音楽を演奏するだけでなく、自分自身なりの平和について考え、音楽を通して様々な形で成長できる場だと思います！  
 どこまでも、人の幸せ、平和を音楽で伝えようとする心を持ち日々活動しています！



## 蛍桜保存会

Q、どのような取り組みをしていますか？  
 A、関西校の蛍保存会、桜保存会からの発祥で、「春は桜の、夏は蛍の名所にしよう」という創立者の一言に感銘を受け、蛍桜保存会を作りました。

基本的には生物の飼育で、蛍のほかにも様々な生物を飼育しています。その経験を活かして、蛍の生態についての学習や、再生をお手伝いすることを今後活動していきたいと考えています。

蛍は環境問題においての重要なバロメータでもあるため、環境が良いところや、蛍が多く生息しているところは皆さんにご存知だとは思いますが、蛍だけでは生物も環境も関係して生息しているのではないかと思ひ、蛍を通して他の生物についても学習し、そこで環境問題についても理解を深めていくようにしています。



Q、部として根本にしていることはありますか？  
 A、蛍桜保存会にいと、自分はこの頑張りなければいけないという使命感を感じています。後輩がくるまでは自分一人でしたが、4年生の先輩方に助けられ、自分自身奮起することができ、先輩方にはとても感謝しています。

そして、生き物たちの逞しく生きる姿から、学ぶことはとても多く、失敗だと思っても、実はその方が生き物にとっては良いこともあるのです。生き物はこちらがやればやるだけしっかりと答えてくれるのが日々の生活を充実させてくれます。

Q、部の魅力はなんですか？  
 A、一番最初の顧問の方から言われたのが、蛍を守ってくれば他のことは何をしてもいいということでした。蛍桜保存会の活動のありかたがその一言です。自分自身、入部した時に第一とかは全く思いませんでした。

他にやりたいこともいっぱいある中で、蛍を守り育てることは自分の中で大切なもの一つになっています。とても楽しく、やりがいのある部活なので是非気軽に遊びにきてください！

## SOKA フラハワイアンズ

Q、部の取り組みはどのようにしていますか？  
 A、週1で月曜日から水曜日の放課後約2時間ほどで活動しています。部員は20人ほどで、月1回外部の先生をお呼びしてフラダンスの基礎から練習をしています。

また、「フラノート」という自分たちなりに研究したフラダンスのテクニックや練習内容をまとめたノートを作り、技術の向上に励んでいます。部員の中には看護学部の生徒も多く、立ち上げたばかりなのでアットホームな雰囲気です。部員全員がフラダンスサークルの基盤を作っています。

Q、フラダンスサークルはどのようになられたか？  
 A、SOKAフラハワイアンズの魅力とは？  
 A、部員のほとんどの方がフラダンスを始めたばかりなので、気軽に楽しく練習をすることができ、勉強や留学をしたい人でも続けることができるサークルだと思います。とてもアットホームな空気で楽しくフラダンスをすることが出来るので、ぜひ気軽に見学に来て下さい！



Q、今後の活動等についての意気込みをお願いします。  
 A、フラダンスサークルのチーム名「HEI O MINO AKA」には笑顔の集団という意味があります。このチーム名のような団体を目指し、来年はフラダンスの大会出場を視野に入れ、学内外での活動をしたいと思っています。

またフラダンスは、国際的な文化でもあるため、今後SOKAの方や留学生の方ともフラダンスを通じて交流を深めていきたいです。

『私達は  
 報恩感謝の心を胸に  
 価値創造の大道を  
 切り拓いていきます！』

◇意義  
 新草創期と呼ばれるこの時代において、創立者にご安心していただき、各々が決意できるような言葉を、創立者にいつも見て頂いているこの学生センターに貼ろうと学友内で決め、企画させて頂きました。

クラブの代表の方にアンケート、自治会より助言を頂き、3つの柱が見えてきました。

①創立者への感謝  
 安心して頂きたい

②創立者に  
 決意出来る物

③みんなが見た時に  
 この3つの柱を軸に言葉を考えていきました。

そして『報恩感謝』『価値創造の大道』『切り拓いていく』という言葉に行き着きました。『私達は、はるばる歩いていきます！』で、これらの想いを見る度に決意できるような文章とさせて頂きました。詳しい意義文は又学友会本部に置かせていただきます。ご協力頂いた全ての方に感謝申し上げます。

本年度横断幕